

統合準備委員会を合同開催し、計画変更について協議を行いました。

統合準備委員会の構成

(敬称略)

学校再編計画の最優先課題であった八幡小学校敷地内の土砂災害特別警戒区域の対策工事が、昨年12月に完了しました。しかし、今後、様々な検討事項や施設整備に要する期間が必要であり、平小城小・三岳小の複式学級数の増加も加速している現状から、去る2月9日に第3回八幡小・平小城小・三岳小統合準備委員会及び第1回山鹿小・平小城小・三岳小統合準備委員会を合同で開催(委員長河田氏、副委員長館山氏を選任)し、再編計画変更について協議が行われました。

【承認事項】

統合の枠組みを変更します。

複式学級の早期解消等を考慮した上で、

- ◆ 現在の3小学校(八幡小・平小城小・三岳小)の枠組みを見直し、八幡小学校は現行のまま存続する。
- ◆ 令和5年度を目標に平小城小学校・三岳小学校を山鹿小学校に編入する。

	所 属	氏 名
八幡	八幡地区長	志方 靖敏
	八幡小 PTA 会長	小川 進治
	やはた保育園保護者代表	松永 恭典
	八幡小学校長	猿渡 徳幸
平小城	平小城地区長	松永 義光
	平小城小 PTA 会長	稗島 孝一朗
	平小城保育園保護者代表	船津 博史
	平小城小学校長	河田 輝彦
三岳	三岳地区長	友枝 圭介
	三岳小 PTA 会長	野口 淳也
	三岳保育園保護者代表	古江 陽介
	三岳小学校長	館山 恭一
山鹿	山鹿地区長	徳永 龍二
	山鹿小学校 PTA 会長	柿本 昌晃
	山鹿小学校長	島木 浩次
	山鹿中学校長	藤島 浩一

なお、現行のまま存続となった八幡小学校については、施設耐力度調査で建て替えと判断された体育館やその他の施設について必要な整備を計画的に進めていきます。

上記のとおり、「山鹿小・平小城小・三岳小統合準備委員会」の発足により、令和5年度統合に向け、様々な検討事項について協議を進めてまいります。

【主な検討事項】

- ・遠距離通学対策(スクールバス運行計画及び乗降所の設置)
- ・児童交流事業(各種行事等の共同開催や山鹿小見学会の実施)
- ・標準服・体操服等について(移行期間等について)



会議の様子

# 【参考資料】

## 1 現計画とこれまでの協議経過

これまで小・中学校規模適正化基本計画第2次計画(八幡小・平小城小・三岳小の枠組みで八幡小の位置に統合する)に基づき、3校区の保護者代表・地域代表・学校代表で構成された統合準備委員会において下記のとおり協議が行われました。

第1回 八幡小・平小城小・三岳小統合準備委員会 (平成29年10月31日開催)

- ① 現在の3小学校を様々な視点から物理的に比較検討した結果、**「八幡小学校の位置に統合校を設置する。」**
- ② 今後想定される施設整備や検討事項を協議する期間を考慮した上で、再度目標年度を定めることとし、  
**「開校年度は、平成31年4月から当面延期とする。」**ということが確認されました。

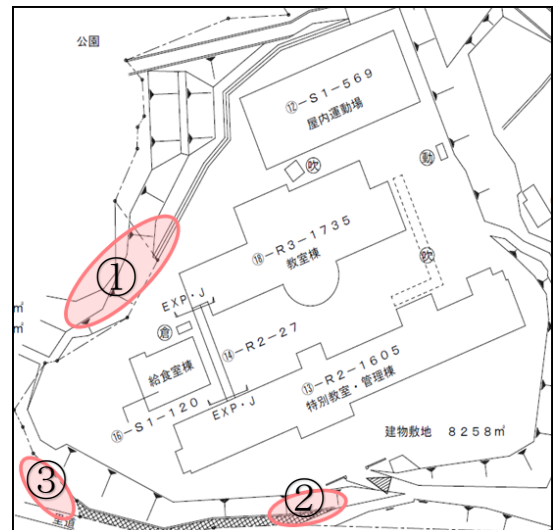
第2回 八幡小・平小城小・三岳小統合準備委員会 (平成30年12月25日開催)

- ① 八幡小の施設構造耐力度調査を行った結果、**「管理棟及び教室棟は既存建物の改修、体育館は建て替えの方向性とする。」**
- ② 八幡小敷地内の土砂災害特別警戒区域の解消に向けた整備について、**「学校再編事業を進める中で、この整備は最優先課題であり、対策工事を行った上で、区域の解消が見込まれる段階になってから具体的な再編事業に取り組むこととし、その時点で開校目標年度を定める」**ということが確認されました。

## 2. 土砂災害特別警戒区域の解消に向けた整備

学校再編事業を進める中で、①②③の特別警戒区域の解消は最優先課題であるとともに統合の如何にかかわらず安全を確保するために、区域の早期解消を図る必要があります。

当該用地の関係等で想定外の遅れを生じましたが、昨年6月より対策工事に着手し12月末で工事が完了しました。現在、区域指定解除のため、県の手続き等を行っております。



## 3. 今後の再編計画の見通しについて

今後、統合する上で必要となる施設整備や検討事項を考慮すると、下記のような再編スケジュールとなり開校年度は順調に進んでも令和8年度になる見通しとなっています。これを受け、検討事項や施設整備において短縮できる方法はないか検証を行ってきましたが、それぞれに新たな課題が生じるため、これ以上の統合時期前倒しは難しいものと判断されます。

### ※再編スケジュール

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
検討事項 (統合準備委員会)	←→ 統合年度の検討		←→ 校名・校歌・校章・標準服・体育服		←→ 遠距離通学関係(スクールバス等)		開校
					←→ 児童交流・PTA組織関係		
施設整備 (八幡小学校)	←→ 土砂対策工事		←→ 増築・改修工事の設計		←→ 仮設校舎建築、管理棟・教室棟改修、体育館新築工事・解体・外構工事		

#### 4. 複式学級の状況と課題

3小学校の児童数を見ますと、八幡小は横ばいで推移している一方で、他の2校は減少しており、令和2年度より平小城小では、複式学級が2クラスに増え、これまで単学級であった三岳小でも複式学級が1クラスとなりました。

現在は、アシスタントティーチャーを配置し、他校と教育環境に差が生じないよう対応に努めていますが、児童数推移で検証すると、令和3年度には平小城小は全てのクラスが複式学級になるなど厳しい状況での学校運営が続く見込みです。

児童数の推移(推計)

年度	平小城小学校		三岳小学校		八幡小学校	八幡 平小城 三岳	山鹿小学校	山鹿 平小城 三岳
	児童数	複式学級数	児童数	複式学級数	児童数	3校計	児童数	3校計
R. 1	46	1	72	0	192	310	757	875
R. 2	40	2	63	1	200	303	741	844
R. 3	32	3	66	1	210	308	722	820
R. 4	25	3	64	1	211	300	725	814
R. 5	29	2	60	1	203	292	716	805
R. 6	31	2	60	2	196	287	678	769
R. 7	28	2	56	1	200	284	641	725

【根拠資料:学校区別児童生徒数調べ(R3.2.1 現在)】

#### 5. 現計画と見直し案の検証

現計画で進めれば開校年度は5年先であり、スケジュールの短縮は困難であります。児童数の減少が進み複式学級が増加している平小城小・三岳小は、今後厳しい学校運営が予想され、複式学級の早期解消を図る必要性や八幡小の長期工事に伴う児童の負担軽減を考慮し、地域の意見を踏まえた現計画の見直し案を検証しました。

内容	代案候補	概要	課題点
位置 変更	カルチャー	カルチャーもしくはカルチャー近辺で統合校を新設する (八幡小の長期工事解消)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内は都市公園法により学校施設が建てられない</li> <li>・近辺は、用地買収、造成、学校建築と現計画よりも更に時間を要する</li> <li>・基本方針として、既存施設活用が前提である</li> </ul>
	鶴城中跡	閉校した鶴城中跡に統合校を新設する (八幡小の長期工事解消)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校仕様の学校を小学校仕様へと構造改修及び不足教室分の増築が必要であり、現計画同等の時間が必要となる</li> <li>・3小学校の児童の大半がスクールバスとなるため、学校運営上負担増となる</li> </ul>
枠組み 変更	山鹿小	平小城小・三岳小の2校を山鹿小学校へ編入する (複式学級の早期解消)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八幡小は規模が大きく、再編に含むことができない</li> <li>・2校児童がスクールバス通学となると駐車場スペースが不足する</li> <li>・早期解消が目的なので、編入に2校の理解が必要</li> </ul>
	鹿北小	平小城小・三岳小の2校を鹿北小学校へ編入する (複式学級の早期解消)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八幡小は規模が大きく、再編に含むことができない</li> <li>・早期解消が目的なので、編入に2校の理解が必要</li> <li>・平小城、三岳の中学校区分が変更となる (山鹿中校区 → 鹿北中校区)</li> </ul>

## 6. 再編計画の変更について

複式学級の解消は、学校規模適正化基本計画の重要な基本方針であり、平小城小・三岳小の複式化が進んでいる中で、子どもたちが多様な考え方に触れ、社会性や協調性を育み、教育機会の均等を確保する上でも早期の複式学級の解消が求められているところです。

また、現行の計画で工事を進めると、八幡小は仮設校舎での学校生活で運動場や体育館の使用が制限されるとともに、工事期間の長期化が予想され、子どもたちに与えるストレスや利便性の課題も大変大きな負担になると懸念されます。

さらに、枠組みを変えて平小城小・三岳小の再編を検討した場合、鹿北小では中学校区分を変更することになります。一方、山鹿小では受け入れ可能な教室数を有しており、鶴城中の山鹿中への編入経緯もあることから、地域性も踏まえ早期の複式学級解消が可能になると考えられます。

このようなことから、

現在の3小学校枠組みを変更し、令和5年度を目標に平小城小学校、三岳小学校を山鹿小学校へ編入する。八幡小学校については現行のまま存続するものとし、耐力度調査で建て替えと判断された体育館について整備を計画する。

という変更が現在において最善ではないかと考えられます。

## 7. 保護者説明会の実施について

これまでの経緯と計画変更について理解を得るため、4校区(八幡・平小城・三岳・山鹿)の保護者等への説明会を実施しました。

- 平小城小・保育園保護者説明会(6月23日開催 44名出席)
- △三岳小・保育園保護者説明会(7月14日 豪雨災害により延期)
- 八幡小・保育園保護者説明会(7月21日開催 32名出席)
- 山鹿小 PTA 役員会(7月28日開催 23名出席)
- △三岳小・保育園保護者説明会(8月5日 市内新型コロナ発生により延期)
- 三岳小・保育園保護者説明会(10月6日開催 33名出席)
- 平小城小・三岳小・保育園保護者合同説明会(10月20日 40名出席)
- 各地区区長会説明(10月21日～11月5日)



統合準備委員会事務局

山鹿市教育委員会 学校規模適正化推進室

TEL 0968-43-1396